

スポット

萩（離島含む）エリア

築100年を超える石橋と紫陽花のハーモニー

発信したい情報

三見橋（眼鏡橋）で紫陽花に癒やされよう！

理由

市街地から車で約15分。萩市三見（さんみ）地区にある三見橋（眼鏡橋）は、大正3（1914）年建造の単一アーチ型石橋です。築100年を超えた今も現役の橋で、眼鏡橋保存会の方々が周辺をきれいにし、その美しい姿を守り続けています。この橋はいつでも四季折々の植物とのコンビネーションが美しいのが特徴ですが、特に紫陽花の時期はたくさんの株が次々に花を咲かせ、市民の楽しみのひとつとなっています。今年から橋の下にテーブルと椅子も設置され、橋の陰で腰をおろして清流を眺めながら、ピクニック気分も楽しめるようになりました。紫陽花は5月下旬?6月中旬が見頃です。ぜひ足を運んで、田舎の良さをゆっくり味わっていただけたら嬉しいです。

詳細情報

場所：山口県萩市三見字梅ノ木
アクセス：萩市街地より、国道191号線を長門市方面へ向かうと、途中で「3km三見→」という案内表示が出てきます。その交差点を曲がらずまっすぐ通り過ぎると、国道から右手に向かう小さい道がありますので、そちらの道へ進んでください

（情報は2024年3月17日現在のものです）